

広域振興局長

提出者 株式会社十文字チキンカンパニー
住所 岩手県二戸市石切所字火行塚25
氏名 代表取締役 十文字 保雄

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活为确保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	久慈工場	* 整理番号			
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県久慈市小久慈町第63地割16-1	* 受理年月日	年 月 日		
エネルギー使用量	17,433 kl	* 施設番号			
自動車の使用台数	158 台				
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。				
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況					
その他の地球温暖化の対策の実施状況					
変更年月日及び理由	年 月 日				
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない				

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
別紙参照		kl
		kl
		kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活为确保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

[illegible]

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(令和 5)年度						E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO2)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO2)	対前年度比二酸 化炭素排出量 (t-CO2)
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
		数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)			kL		kL					
	原油のうちコンデンセート(NGL)			kL		kL					
	揮発油(ガソリン)		5.60	kL	187	kL		187	13	15	-2
	ナフサ			kL		kL					
	ジェット燃料			kL		kL					
	灯油		84.78	kL	3,094	kL		3,094	212	218	-5
	軽油		287.34	kL	10,919	kL		10,919	753	769	-16
	A重油		1,469.97	kL	57,182	kL		57,182	4,047	3,704	343
	B・C重油			kL		kL					
	石油アスファルト			t		t					
	石油コークス			t		t					
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	5,681.98	t	284,667	t		284,667	17,014	16,250	764
		石油系炭化水素ガス		千m³		千m³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
		その他可燃性天然ガス		千m³		千m³					
	石炭	原料炭	輸入原料炭		t	t					
			コークス用原料炭		t	t					
			吹込用原料炭		t	t					
		一般炭	輸入一般炭		t	t					
			国産一般炭		t	t					
		輸入無煙炭		t		t					
	石炭コークス			t		t					
	コールタール			t		t					
	コークス炉ガス			千m³		千m³					
	高炉ガス			千m³		千m³					
	発電用高炉ガス			千m³		千m³					
	転炉ガス			千m³		千m³					
	その他の燃料	都市ガス		千m³		千m³					
()											
()											
非化石燃料	黒液			t		t					
	木材			t		t					
	木質廃材			t		t					
	バイオエタノール			kL		kL					
	バイオディーゼル			kL		kL					
	バイオガス			千m³		千m³					
	その他バイオマス			t		t					
	RDF			t		GJ/t					
	RPF			t		GJ/t					
	廃タイヤ			t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)			t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)			t		GJ/t					
	廃油			kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス			千m³		千m³					
	混合廃材			t		t					
	水素			t		t					
	アンモニア			t		t					
	その他燃料()										
小 計 ①								356,050	22,038	20,954	1,084
熱	産業用蒸気			GJ		GJ					
	産業用以外の蒸気			GJ		GJ					
	温水			GJ		GJ					
	冷水			GJ		GJ					
	地熱			GJ		GJ					
	温泉熱			GJ		GJ					
	太陽熱			GJ		GJ					
	雪氷熱			GJ		GJ					
	小 計 ②										
電気	電気事業者①		36,629.27	千kWh	316,477	千kWh		316,477	17,472	15,933	1,539
	電気事業者② ※複数契約している場合使用			千kWh		千kWh					
	自己託送(非燃料由来を除く)			千kWh		千kWh					
	自家発電	太陽光	875.98	千kWh	3,154	千kWh		3,154			
		水力		千kWh		千kWh					
		風力		千kWh		千kWh					
その他			千kWh		千kWh						
小 計 ③								319,630	17,472	15,933	1,539

合 計 ④=①+②+③		675,680	39,510	36,888	2,622
-------------	--	---------	--------	--------	-------

(2) 原油換算エネルギー使用量＝(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	17,433	kL
--------------	--------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	39,510	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふつ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふつ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		39,510	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

2024年度までに2021年度比で4.5%(再エネで1.5%、省エネで3%)削減を目指している。

2023年度は2021年度(17,655kℓ)比で原油換算量で1.3%削減、
CO2排出量では、東北電力の排出係数が増加しており、増加に転じている。

【具体的な取組状況】

○省エネ

・久慈工場

電気 不要な時間(休憩時間、作業終了)に稼働している機械のこまめな停止と手元スイッチを追加し、
運転・停止をこまめに行う。
エネルギー巡回を行い、停止を忘れていた機器を各課の管理職に指示し停止の習慣化を行う。
モーターにインバーターを設置して、凍結防止時の電力を削減する。

重油 お湯の槽の保温を行い重油の削減、また、お湯の排水から熱回収を効率的に行う様に改造を行う。
蒸気の休憩時間の停止を行う。
減圧弁の設置がない箇所に付けてみる。

生産農場

ガス 老朽化鶏舎の修繕を計画的に行い、断熱性・気密性の向上を行う。

○再エネ

- ・新設冷蔵庫の運用および太陽光発電が2023年5月より稼働開始。
- ・久慈工場の太陽光発電が2023年6月より、隣接の物流施設の太陽光発電が2024年1月より稼働開始。
- ・山形孵卵場の太陽光発電が2023年9月より、九戸孵卵場の太陽光発電が2024年2月より稼働開始。

○輸送の合理化

- ・新設冷蔵庫の運用開始により、製品の輸送距離削減。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・コピー用紙の両面印刷や製本印刷を活用し、ペーパーレスに努めている。

別紙 その3（自動車用）
1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量（令和 5 年度）					
自 動 車			二酸化炭素の排出		燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	114 (0)	227,736 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	521,545 kg-CO ₂	105.7
軽油	67 (0)	272,215 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	713,057 kg-CO ₂	100.5
L P G	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	181 (0)			1,234,602 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の（ ）には、ハイブリッド車の台数（内数）を記載してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（平成11年政令第143号）の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況（進捗状況）】
2024年度までに、2021年度比CO2排出量3%削減を掲げているところ、2023年度は2.9%の削減となった。
前年対比では、おもに生産農場の作業車両関係が増えたことで、台数が23台増加しており、CO2排出量は3.0%増加している。

【具体的な取組状況】
○自動車利用抑制
・社用車燃費ランキングの掲示により、エコドライブの意識づけを図っている。
・できるだけ乗り合わせを行い燃料使用量の削減に努めている。
・リモート会議を活用している。

○輸送の合理化
・生産設備部門において、5Sチェックによる積載率の向上を図っている。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項